
令和7年 第3回（定例）日出町議会会議録（第5日）

令和7年9月29日（月曜日）

議事日程（第5号）

令和7年9月29日 午前10時00分開議

開議の宣告

委員長報告

委員長報告に対する質疑

討論

採決

日程第1 議員派遣の件について

日程第2 閉会中各委員会の継続審査及び調査について

追加日程第1 発委第5号 地方財政の充実・強化に関する意見書について

追加日程第2 議案第54号 日出町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営
に関する基準を定める条例の一部改正について

追加日程第3 議案第55号 日出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定
める条例の一部改正について

追加日程第4 議案第56号 日出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基
準を定める条例の一部改正について

追加日程第5 諮問第4号 人権擁護委員の候補者の推薦について

追加日程第6 報告第11号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

追加日程第7 報告第12号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

追加議案に対する趣旨説明並びに提案理由の説明

追加議案に対する質疑

討論

採決

閉会の宣告

本日の会議に付した事件

開議の宣告

委員長報告

委員長報告に対する質疑

討論

採決

日程第1 議員派遣の件について

日程第2 閉会中各委員会の継続審査及び調査について

追加日程第1 発委第5号 地方財政の充実・強化に関する意見書について

追加日程第2 議案第54号 日出町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

追加日程第3 議案第55号 日出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

追加日程第4 議案第56号 日出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

追加日程第5 諮問第4号 人権擁護委員の候補者の推薦について

追加日程第6 報告第11号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

追加日程第7 報告第12号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

追加議案に対する趣旨説明並びに提案理由の説明

追加議案に対する質疑

討論

採決

閉会の宣告

出席議員（15名）

1 番	多田 利浩君	2 番	阿部 峰子君
3 番	河野 美華君	4 番	岡山 栄蔵君
5 番	豊岡 健太君	7 番	衛藤 清隆君
8 番	阿部 真二君	9 番	上野 満君
10番	川西 求一君	11番	岩尾 幸六君
12番	池田 淳子君	13番	工藤 健次君
14番	森 昭人君	15番	熊谷 健作君
16番	金元 正生君		

欠席議員（なし）

欠 員（１名）

事務局出席職員職氏名

局長 河野 匡位君 次長 橋本 樹輝君

説明のため出席した者の職氏名

町長	安部 徹也君	副町長	大路 正浩君
教育長	恒川 英志君	会計管理者兼会計課長	吉松 美紀君
総務課長	高橋 康治君	財政課長	河野 明弘君
政策企画課長	赤野 公彦君	まちづくり推進課長	坂西 和宏君
税務課長	成富 祥史君	住民生活課長	佐藤功次郎君
介護福祉課長	間部 大君	子育て支援課長	白水由希子君
健康増進課長	後藤 将児君	農林水産課長兼農業委員会事務局長	麻生 康弘君
都市建設課長	藤井 英明君	上下水道課長	大塚英二郎君
教育総務課長兼学校給食センター所長	古屋秀一郎君	学校教育課長	木田 尚武君
社会教育課長兼町立図書館長	河野 英樹君	代表監査委員	井上 哲治君
監査事務局長	山口 佳子君	財政課課長補佐	森若 由佳君

午前10時00分開議

○議長（金元 正生君） 皆さん、おはようございます。

議員各位におかれましては、２８日間にわたり慎重に御審議をいただき、また、議会運営にも格段の御協力を賜り、本日、最終日を迎えることができました。心から感謝を申し上げます。

開議の宣告

○議長（金元 正生君） ただいまの出席議員は１５名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

本日の会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

委員長報告

○議長（金元 正生君） これより委員長報告を行います。

今期定例会でそれぞれ所管の常任委員会並びに特別委員会に付託された議案、請願並びに事業

等について、各委員会における審査結果の報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 多田利浩議員。多田委員長。

○総務産業常任委員長（多田 利浩君） おはようございます。

令和7年第3回定例会9月17日に開催された総務産業常任委員会の報告です。

まずは当委員会に付託された議案等の審査についてです。

議案第44号日出町特別職職員によるハラスメントの防止等に関する条例の制定について、これは町長、副町長、教育長、常勤の特別職を対象としたハラスメント条例を整備することで、特別職に対しても、職場におけるハラスメント根絶を図るものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

議案第45号日出町未来へつなぐ基金条例の制定について、これは秋草葬斎場の有価物を含む残骨灰の売払い収入を、別杵速見地域広域市町村圏事務組合秋草葬斎場未来へつなぐ基金に積み立て、翌年度、各市町に助成金として拠出し、住民福祉の増進を図るものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

議案第47号日出町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について、これは地方公務員の育児休業などに関する法律の一部改正に伴い、公営企業職員の給与について部分休業に関する条例事項の改正を行うものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

議案第48号日出町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について、これは地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業制度の拡充に係る規定を整備するために所要の改正を行うものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

議案第49号日出町職員の勤務時間、休暇等に関する一部改正について、これは育児休業、介護休業など、育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、仕事と育児、介護の両立のための支援制度の利用に関する職員の意向確認等に係る規定を整備するために所要の改正を行うものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

議案第50号日出町行政手続における特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について、これは個人番号を利用する事務に宛名情報管理に関する事務を追加するために所要の改正を行うものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

議案第51号日出町議会議員及び日出町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について、これは公職選挙法施行令の改正に伴い、国会議員の選挙における選挙運動の公

費負担について、一部費用の限度額が引き上げられたことを受けて、町議会議員及び町長選挙の公費負担について条例の改正を行うものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

議案第52号豊後大野市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について、これは豊後大野市多機能型武道場を日出町の住民が利用することについて、関係自治体と協議したため、議会の議決を求めるものです。

審査の結果は、全会一致で可決です。

請願第3号地方財政の充実・強化を求める意見書の採択に関する請願について、これは令和8年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、歳入歳出を的確に見積もり、地方財政の確立が求められています。このための意見書を国の関係機関へ提出を求めたものです。

審査の結果は、全会一致で採択です。

続きまして、各課の事務調査についてです。

総務課からは、参議院議員通常選挙の結果について総括の報告がありました。前回の報告に加えて、年代別の投票率についての報告がありました。全体の投票率が上がったとはいえ、10代、20代の投票率は50%を下回っている状況であるため、選挙時の啓発活動はもちろんのこと、選挙出前授業など、平時の啓発活動も積極的に講じる必要があるとのことでした。

委員からは、期日前投票は、投票所の入場券がなくても投票ができることを、周知を行ってほしいとの意見に、期日前投票は、入場券がなくても投票所で本人確認ができれば投票できるので、ホームページなどでもお知らせをしています、さらに周知を図りたいとの答弁でした。

財政課からは、旧真那井幼稚園の貸付けについて説明がありました。利活用を図ることで、地域の活性化や財源の確保につなげるために、公募型プロポーザル方式で契約者を選定します。9月24日から応募者の登録を行い、来年3月中に本契約を締結する予定です。ほかに公用車の車両広告募集について報告がありました。

その他、土葬墓地に関して、別府ムスリム教会との進捗について説明がありました。7月上旬に日出町から文書を発送し、土葬墓地予定地の町有地に建てられていた墓地等経営計画の概要を記載した標識が、町職員が8月14日に確認したところ撤去されていました。費用負担などが今後の課題と考えており、引き続き、顧問弁護士と相談をしながら、解決に向けての協議を進めますとの報告がありました。

政策企画課からは、8月末でのふるさと寄附金の状況について説明がありました。8月末現在で1億9,484万4千円で、昨年比で1,714万円の増額です。ポータルサイト別では、さとふる、楽天、ふるなび、チョイスの4大サイトで92.4%を占めています。

そのほか、行政ヒアリングの結果について、第6次総合計画の策定状況についての報告があり

ました。

次に、まちづくり推進課からは、地域公共交通で別府医療センター行きのバスアンケートの結果について報告がありました。アンケートには、高齢になり、運転が難しくなったときには、ＪＲやタクシー以外の交通手段が重要です。コミュニティバスなどがうまく活用できると生活しやすい、住みやすいまちづくりにつながりますなどの意見が寄せられています。

委員からは、別府医療センター行きバスの運行開始時期は決まったのでしょうかとの質問に、まだ決まっていません、時期は未定ですとの答弁がありました。

また、ひじ町ツーリズム協会、日出町シルバー人材センター、日出町商工会への補助金について、この１０年間の会員数、決算額、補助金額について詳細な報告がありました。この報告を受けて、委員会からは、補助金の金額は現状維持でよいが、それぞれの団体の会員数の増加、また、ツーリズム協会は、今後、活動収入を増やして補助金を減額するための努力を要するとの意見をまとめ、予算委員会へ伝えました。

そのほか、豊の国千年ロマン観光圏について、令和６年度と令和７年度の市町村連携事業の報告がありました。主にヨーロッパやアメリカ、オーストラリアの富裕層をターゲットとした、２泊３日以上滞り交流型観光を目指していると説明がありました。

委員からは、観光は経済につながるので、日出町にお金が落ちる仕組みをつくっていかねばという意見に対して、町長からは日出町の自然を生かしたネイチャーツアーや、食事を中心としたガストロノミーツアーなど、こういった事業を担当課で検討していますとの答弁でした。

税務課からは、令和６年度町税等の収入決算状況について報告がありました。現年度分の収納状況で、現在の日出町の収納率は９９．５％、また、滞納繰越分の収入状況は、現年の繰越し、現年分の収納と繰越分についての合計の収納率は９７．５４％との報告がありました。

農林水産課からは、中間育成施設の活用とカレイの育成について報告がありました。大型種苗化の取組で、３月にＬＥＤ照明を設置し、現在実証実験中です。稚魚の受入れ時の大きさ３０ミリから、７月の放流時の大きさ５０ミリまでの育成期間を２週間短縮しています。海水温が上昇している現況で、海水温の上昇にも耐える性質を持ち、別府湾にとどまるカレイの育成を目指しています。そのため、水槽内での細菌や藻や寄生虫の発生を抑制できるように、水質管理や魚の密度の管理、餌の適量投与などを徹底管理しています。

また、カレイの大型化の実証実験については、来春からの大型化実証実験開始に向けて検討を進めるとのことです。大型化に伴う予算は、現在のところ、餌代の増額のみを想定しているとのことです。課題としては、城下かれいは、別府湾で獲れたものでなければ、城下かれいとして扱われず、陸上養殖されたものは、マコガレイ扱いとなるそうです。城下かれいとして、市場や料理屋には提供できないとのこと。

委員からは、大学の研究チームと連携してはどうだろうかとの意見に、町長からは、城下かれいを復活させることは、町にとって重要な課題です。大学との連携の可能性も含めて検討しますとの答弁でした。

このほか、新規就農者支援体制と中間育成施設の施設内機器の修繕について説明がありました。

農業委員会からは、農業者年金の推進と活動実績についての報告がありました。農業者年金は、基礎年金の国民年金に上乘せして支給されるもので、農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目指しています。加入推進の普及活動計画として、9月に推進対象者への資料送付、10月に産業文化まつりでの広報と就農相談、11月には広報ひじへの記事掲載を予定していますとのこと。

都市建設課からは、道路及び河川事業の進捗状況について報告がありました。昨年度の繰越しと今年度の当初予算での本年度発注予定事業工事委託数は26件です。契約済みと契約準備中のものを合わせて17件、進捗率約65%で、事業費ベースで予算に対して1億9,732万1千円、これは進捗率約49%です。

今年度の進捗状況は、おおむね発注計画に基づいて順調に推移しているとの判断で、残り9件に関しても、適正な執行管理を行い、年度内に全て完了するように事業を推進するとのこと。

委員からは、建設費が高騰しているが、積算根拠はどのようになっているのかとの問いに対して、県内の市町村が利用している大分県のシステムを利用して反映させていますとの答弁でした。

会計課からは、第206回都市再生機構債の購入と債権の運用収益について報告がありました。

以上、総務産業常任委員会の報告でした。

○議長（金元 正生君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 豊岡健太議員。豊岡委員長。

○福祉文教常任委員長（豊岡 健太君） 福祉文教常任委員会の報告を申し上げます。

当委員会は、会期日程に従い、9月18日に委員会を開催しました。当委員会に付託されました議案2件の審査結果と所管各課の報告事項について御報告申し上げます。

まず、議案第46号日出町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についてです。粗大ごみの処理手数料について、周辺自治体と比較して非常に安価で、町の負担が増加していることから、適切な処理手数料を設定し、粗大ごみ処理券を用いて分別・収集することを目的に条例を改正するものです。粗大ごみ処理券1枚400円、1個に1枚貼付するものとし、施行期日は令和8年4月1日です。

全会一致で可決です。

次に、議案第53号財産（物品）の取得についてです。国の第2期GIGAスクール構想を見据え、令和8年度から児童生徒用タブレット端末の更新を予定しています。物品は、学習者用端末、アダプター、キーボードケース、管理ソフト及び周辺機器2,550組で、取得金額は税込

1億5,876万3千円、令和8年4月から新端末の使用を開始する予定です。なお、旧端末は、競争入札を経て売却する予定となっております。

全会一致で可決です。

以上、当委員会に付託されました議案2件の審査結果の報告といたします。

次に、所管各課の報告事項について御報告申し上げます。

まず、教育総務課からは、議案説明のほか、学校体育館の空調設備整備について説明がありました。夏季の熱中症対策として、3年間で町内全7校の体育館に空調設備の整備を予定しており、令和8年度は、日出中学校、大神小学校、令和9年度は、豊岡小、藤原小、川崎小、令和10年度には、日出小、大神中を計画しています。財源ですが、最初に手掛ける日出中、大神小については、緊急防災・減災事業債を活用し、令和9年度以降の5校については、国の空調設備整備臨時特例交付金を活用する見込みです。

委員から、体育館の断熱性の確保についての考えはとの質問に対し、工事と同時に行わなくても、令和15年度までに断熱工事を行えば交付金の対象になる。窓ガラスに遮熱フィルムを貼るといった、安価でメンテナンスも容易な施工方法もあるようなので現在検討している。既に体育館に空調を整備した他の自治体を参考にしながら、引き続き検討したいとの回答でした。複数の委員から、可能な限り早期の空調設備整備の実現をとの意見が出されたところです。

次に、学校給食センターからは、令和7年度第1回町民試食会について報告がありました。30代から70代以上の49名が参加し、給食を試食した上でアンケートを実施しました。献立全体の味については、全年代で圧倒的多数で「とてもおいしい」との回答でした。献立全体の量に関しては、「普通」、「少し多い」が大半でした。

委員から、給食の量に関して児童生徒たちへのアンケートは行っているかとの質問に対し、タブレットを活用してアンケートを取っている。ちょうどいいという意見が約半数であったが、もう少し食べたいという意見も多く見受けられた。残菜量との兼ね合いもあるが、今後、量については検討したいとの回答でした。そのほか、社会見学の入場条件について説明がありました。

次に、学校教育課です。令和7年4月に実施され、7月末に結果が出た全国学力・学習状況調査について報告がありました。この調査は、小学校6年生、中学校3年生を対象に、国語と算数・数学と理科の3教科で実施されました。小学6年生は、国語・理科において全国及び大分県の正当率を上回り、算数においては県平均を2ポイント下回ったものの、全国の正当率と同等の結果でした。中学3年生は、数学・理科において全国及び大分県の正当率を上回り、国語においては、全国の正当率を若干下回ったものの、大分県の正当率を1ポイント上回った結果となりました。

そのほか、令和7年度大分県学力定着状況調査結果の報告がありました。今後、各学校の担当

者を集めた日出町学力向上会議を実施する予定で、各学校で、これまでの取組内容の見直しと指導の改善を進め、12月の日出町標準学力調査等で改善状況の確認を行う予定との説明がありました。

次に、社会教育課からは、町内各地区の体育祭、ふれあいまつりについて、歴史文化講座、学芸員の日出町学について、また、第78回大分県民スポーツ大会の結果について、それぞれ報告がありました。

次に、町立図書館からは、図書館システムの更改について説明がありました。現在使用中のシステムの契約期間が令和8年9月までで、5年ごとに契約を更新していますが、システムの更新と併せて、パソコンの機器の入替えも予定されています。今年度は、図書館システム保守委託料や機器借り上げ料、システムクラウド使用料等で、システム関連予算として年間約500万円を予定しています。併せて、今後のスケジュールについても説明がありました。そのほか、10月27日から11月9日までの読書週間について報告があり、その間の関連行事の説明がありました。

次に、住民生活課からは、議案説明のほか、おくやみワンストップ窓口サービスの開始について報告がありました。このサービスは、亡くなった方や御遺族の状況に応じて必要な手続を関係各課から取りまとめ、申請書作成の補助、案内を一括して行う窓口を設け、ワンストップでサービスを実施するものです。受付方法としては、まず、窓口を設置している発券機にて発券し受付を行い、職員が御遺族から死亡者等の情報を聞き取り、タブレットに入力します。入力完了後、手続一覧をお渡しし手続を案内、タブレットに入力した時点で、手続に必要な申請書を該当するかで出力することができるため、御遺族の方は、それぞれの窓口で何度も申請書を書く必要がなくなるといった内容で、令和7年の8月1日から窓口が開設されています。

実際に来られた方の反応はという委員からの質問に対し、開設当初、タブレットへの入力は窓口に来られた方に行っていたが、入力に慣れていないといった意見を反映し、現在では一緒に確認をしながら職員が入力するように変更した。キーボードがあったほうがスピーディーな入力が可能ということであれば、今後、検討し改善していきたいとの回答でした。窓口に来られた方はもちろん、担当職員の利便性を上げるためにも、今後の改善に期待をします。

次に、介護福祉課からは、障がい者優先調達について説明がありました。日出町の事務事業に伴い、行う物品の購入及び役務の発注について、全庁的に障がい者就労施設等からの調達の推進等を図ることを目的とした、令和7年度日出町就労施設等優先調達方針を策定しました。今年度の調達目標額は267万4千円で、内訳は、物品が61万6千円、役務が205万8千円です。町内の障害者就労施設で行っている業務内容についての庁内各課への情報提供及び庁内各課からの発注希望等について、障がい者就労施設へ情報提供を行うなどして、優先調達の取組を進める

とのことです。

委員からの単価の見直しの検討はとの質問に対し、事業所から見積りを取るが、物価高騰等の影響もあると思うので、加味した上で検討したいとの回答でした。そのほか、重層的支援会議についてや就労選択支援について説明がありました。

次に、子育て支援課からは、うのスマイル児童クラブの施設整備スケジュールについて説明がありました。児童クラブの施設整備について、令和7年8月1日付で国庫補助の内示を受けました。うのスマイル児童クラブは、日出中学校前の旧干野邸を改修し、移設しますが、スケジュールとしては、令和7年11月末までに耐震調査業務を行い、その後、12月から令和8年3月中旬頃までに改修工事及び備品購入を行い、令和8年4月1日から供用開始の予定とのことでした。なお、耐震調査業務費は約80万円、改修工事費は1,800万円、備品購入費は50万円を予定しています。そのほか、AEDの購入について報告がありました。今年度予算で、放課後児童クラブ用のAED5台を購入し、各クラブに設置の希望の有無と設置の時期について意向調査を行った結果、併設した施設のAEDを供用できないクラブから設置することとなり、今年度は、豊岡児童クラブ、うのスマイル児童クラブ、藤原放課後児童クラブ、そして川崎と大神のなかよし児童クラブに設置の予定です。不足分については来年度に追加で購入し、設置する予定とのことでした。

最後に、健康増進課からは、救急安心センター事業＃7119の実績について報告がありました。＃7119とは、急なけがや病気をしたとき、救急車を呼んだほうがいいか、すぐに病院に行ったほうがいいかなど、判断に迷ったときに＃7119に電話すると、医師や看護師といった専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口です。令和7年7月から始まったこの事業ですが、7月の相談件数の実績は、大分県全体で1,569件、うち日出町は1.1%に当たる18件でした。大分県の対象者の年代別で一番多かったのは20代で13.7%、次いで多かったのは60代でした。内容別では、症状や状況の相談が54.4%、事故・けがが9.8%でした。

委員から、＃7119にかけて、救急車が必要なときは電話を切らずにそのまま119番にかなげてもらえるのかという質問に対し、切迫した状況や本人がかけ直すことが困難な場合は転送できるが、本人がかけ直すことができるような状況の場合は、基本的にかけ直してもらうことになっているとの回答でした。そのほか、やさイト事業の普及啓発の一環で、産業文化まつりのステージイベントとして、令和7年10月26日に開催される、やさイトとカゴメ株式会社とのコラボ企画について説明がありました。カゴメから管理栄養士を招き、おいしく楽しく健康に食べるコツや野菜の魅力、カゴメの管理栄養士ならではの裏技などを講演していただく予定とのことでした。

以上、今定例会において、福祉文教常任委員会に付託されました議案等の審査結果及び所管各

課の事務調査の報告といたします。

以上です。

○議長（金元 正生君） 次に、予算常任委員会委員長 岡山栄蔵議員。岡山委員長。

○予算常任委員長（岡山 栄蔵君） 予算常任委員会の御報告をいたします。当委員会は、9月9日に委員会を開催いたしました。

はじめに、付託されました議案4件の審査結果を御報告いたします。

まず、議案第40号令和7年度日出町一般会計補正予算（第4号）についてです。既定の歳入歳出予算に2億9,768万7千円を追加し、総額を146億8,520万5千円とするものであります。昨年度の同時期と比較して12億600万円、9%の増加となっております。また、債務負担行為で、高速プリンター更改費796万9千円を計上し、地方債7,520万円を増額しています。

続きまして、主な補正内容を御説明いたします。

まず、歳入ですが、地方特別交付金及び地方交付税の令和7年度の額が確定したので、それに伴う増額となっております。

次に、国庫支出金は、物価高騰対策臨時交付金等の増額をしており、県支出金では、農林水産課及びまちづくり推進課の事業費の追加に伴う県補助金の増額等です。また、繰入金は、普通交付税等の増額に伴う財政調整基金の減額等によるものであります。

次に、繰越金は、令和6年度決算に伴う余剰金を計上、町債は、道路事業費等の追加に伴う増額となっております。

続きまして、歳出です。総務費では、主に10月からの運行となるデマンド型地域公共交通運行事業費1,590万9千円などを計上しています。民生費では、定額減税補足給付金事業2,082万1千円等を追加で計上しています。衛生費では、新型コロナワクチン接種事業を減額し、带状疱疹ワクチン接種事業を増額しています。

続いて、農林水産費では、新規就農者の初期投資費用の補助金等を計上し、商工費では、川崎工業団地の造成事業費を増額しています。土木費では、町道万願寺大峯線の避難路整備事業費の増額補正を行っております。

次に、教育費では、大神小、日出中、中央体育館の空調設備に向けた設計委託料等を計上しています。

なお、性質別においては、普通建設事業費が今回1億6千万円と最も多くなっており、また、人事異動に伴う人件費が6,700万円となっております。

次に、川崎工業団地の造成事業費の増額について、慎重な審議をするために現地での説明を受けました。

委員からは、机上の説明よりも、現地での説明のほうが分かりやすい。せめて、庁舎内の説明では分かりやすい写真での説明を、今後、お願いしたいとの意見が出されました。

慎重審議の結果、可決です。

次に、議案第41号令和7年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてです。既定の歳入歳出予算に1,797万6千円を追加し、総額を31億4,333万8千円とするものです。内容として、歳入は一般会計からの繰入金と前年度決算に伴う繰越金、歳出はシステムの改修費や県への返還金などが主なものです。

慎重審議の結果、可決です。

次に、議案第42号令和7年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてです。既定の歳入歳出予算に1億2千万6千円を追加し、総額を28億1,891万3千円とするものがあります。主な補正内容は、歳入では前年度繰越金や介護保険等であり、歳出では予備費や国・県への返還金となっています。

慎重審議の結果、可決です。

次に、議案第43号令和7年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてです。既定の歳入歳出予算に231万2千円を追加し、予算総額を5億2,347万8千円とするものであります。補正の内容は、歳入は一般会計からの繰入金や前年度繰越金、歳出はシステム改修費や広域連合への納付金となっています。

慎重審議の結果、可決です。

以上、当委員会に付託されました議案4件の審査結果の御報告といたします。

最後に、今年度より、予算常任委員会は閉会中の特定案件の調査・審議、現在は川崎工業団地造成事業について、より活発な委員会に取り組んでいます。予算委員会のできる範囲での調査を行う中で、特定案件以外では、各種団体の補助金について特化して調査を行いました。調査の内容といたしましては、各種団体の活動が多岐にわたるため、総務産業、福祉文教、両常任委員会に分け精査をしていただきました。

まず、総務産業常任委員会では、日出町商工会、ひじ町ツーリズム協会、日出町シルバー人材センターへの補助金について、各団体の10年分の決算額、補助金額、会員数、令和6年度最新の収支決算書の確認を行い、協議した結果、委員会の意見としては、補助金は現状維持でよいとの判断でした。また、ツーリズム協会については、今後、活動収入を増やして補助金を減額するための努力を要するとの附帯意見も頂きました。

次に、福祉文教常任委員会では、社会福祉協議会の委託事業について、事業内容と予算について協議を行いました。今回の社会福祉協議会補助金の予算見直しについては、予算委員会から問題提起をしたこともあり、福祉文教常任委員会では、社会福祉協議会との意見交換会を実施して

いただきました。

まず、意見交換会で確認できたこととして、これまで離職の多さが目立ち、経験を積んだ職員が他機関へ取られてしまい、また最初から育成しなければならないという悪循環が生じていました。離職が多い原因の一つとして考えられるのは低賃金でした。それまでの給料表は5年で1万円程度しか昇給しないものでありましたが、社協では令和2年から処遇改善に取り組み、給料表の見直し等を行った結果、昨年度は常勤職員離職者ゼロを達成したとのことでした。

また、そのほかの課題としては、初日の委員長報告であったとおり、日出町から社協に対する補助金額が他の自治体に比べ低いことが挙げられます。社協の財政状況に関しても、ここ数年は赤字を繰越金で補填して何とか運営している状況であったが、現在では、物価高騰、人件費高騰等で状況も変わり、事業の推進や人材確保、職員の処遇改善を進めていくためには、現在の補助金額では厳しい状況となってきました。

このような調査内容の結果から、令和8年度当初予算編成時には、補助金と委託事業の見直しや多岐にわたる事業の適正な見積りを行うよう強く要望いたします。

以上、甚だ簡単ではございますが、予算常任委員会の報告といたします。

○議長（金元 正生君） 次に、決算特別委員会委員長 工藤健次議員。工藤委員長。

○決算特別委員長（工藤 健次君） 決算特別委員会の報告をいたします。

当委員会は、会期日程に従い、全員出席の下、町長ほか関係各課の出席を求め、当委員会に付託されました議案3件の審査結果を報告します。

まず、認定第1号令和6年度日出町一般会計国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、歳入歳出決算の認定についてです。

一般会計、特別会計を合わせた歳入決算額は196億9,651万1千円、歳出決算額192億6,770万2千円で、決算規模については、コロナ禍の令和2年度、3年度に次ぐ過去3番目となっています。

一般会計の収支概要は、歳入額133億9,837万3千円、歳出額131億3,149万4千円、実質収支額は1億7,082万3千円の黒字になっています。歳入は、地方特例交付金、地方消費税交付金、町有地売却に伴う財産収入の増加などで前年度比増、歳出は、川崎工業団地造成事業や内部事務システム更新事業、人件費、扶助費等が増加して前年度比増となっています。

委員からは、交流ひろばH i C a L i の管理運営事業の行政スペースの使い方に関する質問に、今、運用を検討中と回答があり、10年間にわたって有効活用がなされていない状況であり、早急な対策を臨みます。

また、地籍調査事業についても、最終年度の質問に、あと18年かかるとの回答で、高額な事業費と長期間の調査を有していること、税の公平性の観点から再検討を実施し、一年でも早く調

査が完了することを強く望みます。

また、襟江亭保存活用事業の解体後の活用についての質問に、解体保存を最優先、その後、協議検討との回答で、襟江亭も長期間にわたり議論、解体となった経緯があり、活用には高額な予算を伴うことから、関係各課と十分な協議の上、貴重な建物を有効活用することを望みます。

次に、特別会計の国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計の合計歳入額は62億9,813万8千円、歳出額は61億3,620万8千円で、歳入歳出差引額は1億6,193万円となっています。

以上、認定第1号については、慎重審査の結果、全会一致で認定です。

次に、認定第2号令和6年度日出町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定は、収益的収支の収入額4億4,407万1千円、歳出額3億5,129万9千円、当年度純利益は7,485万6千円となり、資本的収支の収入額9,285万3千円、支出額2億9,411万2千円で、2億125万8千円の収支不足を当年度損益勘定留保資金等で補填をしています。

認定第2号についても、慎重審査の結果、全会一致で認定です。

次に、認定第3号令和6年度日出町下水道事業剰余金の処分及び決算の認定は、収益的収支の収入額6億9,146万6千円、支出額6億5,712万7千円、当年度純利益は2,198万6千円となり、資本的収支の収入額4億521万5千円、支出額5億7,024万4千円、1億6,502万9千円の収支不足を当年度分損益勘定留保資金等で補填をしています。

認定第3号についても、慎重審査の結果、全会一致で認定です。

以上、甚だ簡単ですが、決算特別委員会の審査報告といたします。

○議長（金元 正生君） 次に、議会活性化特別委員会委員長 森昭人議員。森委員長。

○議会活性化特別委員長（森 昭人君） それでは、去る9月22日に開催した第6回議会活性化特別委員会の主な審査内容について御報告いたします。

今回、議会活性化に関する今後の取組について、委員一人一人に提案をしていただきました。今後、内容を精査して議会運営委員会と調整を図りながら協議を進めてまいりたいと思っておりますが、とりわけ、議員の報酬の見直しの協議から、特別職報酬等審議会の設置について議論をいたしております。

この件につきましては、令和6年第3回定例会で特別職報酬等審議会の設置を、今後、正式に町長に申し入れることになること、また、設置されることになれば、審議会に対し、参考資料として町民アンケート及び議員アンケートの結果を付すこと、加えて、報酬はもとより、定数の増減あるいは現状維持などについて議会の意思を申し添えるということを全員協議会で報告、協議の結果、本会議で、報告に対しまして本会議で承認を頂いております。

しかしながら、審議会の設置時期を明確にしていなかったため、今回、委員会内で意見集約し、

先般、全員協議会で活性化委員以外の議員の皆様の御意見を頂いたところであります。

今後、この全員協議会の協議も踏まえて、今後、さらに協議をし、年内には結論を出す方向で整理をしていきたいというふうに考えております。

次に、初日御報告申し上げましたとおり、議会の活性化について、議長及び議会運営委員会の委員長と三者協議を行いました。

協議では、今後の日出町議会の活性化の取組、また、委員会の在り方などについて議論をいたしました。その中で、形骸化している決算審議をまずは刷新できないかという打診があり、この件につき、委員会として正式な議長からの付託案件として取り上げることとし、今後、協議を進めてまいります。

今回の委員会協議では、決算書の見直し、説明資料と執行部の説明の見直し、質疑の在り方、委員長報告の在り方、議会選出監査委員との連携、決算認定審査意見書の提出などについて協議を行いました。今後、通年議会、また、委員長2年任期ということを踏まえて、有効な決算審査を構築をしてまいりたいというふうに考えております。

なお、予算決算常任委員会の新たな設置、これまで協議してまいりましたけれども、この件につきましては、この決算審査の刷新の後、検討を改めてしてまいりたいというふうに思っております。

以上、甚だ簡単でございますけれども、議会活性化特別委員会の主な審査内容について御報告といたします。

○議長（金元 正生君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 阿部真二議員。阿部委員長。

○議会報編集特別委員長（阿部 真二君） それでは、議会報編集特別委員会の御報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、会期日程に従いまして、委員全員出席の下、9月22日に委員会を開催し、ひじ議会だより141号の問題点の確認、また、本定例会の内容を報告するためのひじ議会だより142号の編集における役割分担及び編集日程について協議を行いました。

なお、今回の表紙写真は、日出中学校の美術部を掲載しますので御覧ください。また、特集記事として、仮称ですが、「どうなる川崎工業団地」として経緯や現在の状況を掲載します。

以上、甚だ簡単ではございますが、議会報編集特別委員会の御報告とさせていただきます。

○議長（金元 正生君） 以上で、各委員会における審査結果の報告を終わります。

お諮りします。会議の途中ですが、ここで休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、休憩します。11時5分より再開いたします。

午前10時56分休憩

午前11時05分再開

○議長（金元 正生君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

委員長報告に対する質疑

○議長（金元 正生君） これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） なければ、これで質疑を終わります。

討論

○議長（金元 正生君） これより討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） なければこれで討論を終わります。

採決

○議長（金元 正生君） これより採決を行います。

議案第40号令和7年度日出町一般会計補正予算（第4号）についてから議案第43号令和7年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてまでの4件を一括して採決します。

各議案に対する委員長の報告は可決です。議案第40号から議案第43号までは委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、議案第40号から議案第43号については委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第44号日出町特別職職員によるハラスメント防止に関する条例の制定について及び議案第45号日出町未来へつなぐ基金条例の制定について採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は委員長の報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、議案第44号及び議案第45号については委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第46号日出町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についてから議案第51号日出町議会議員及び日出町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正についてまでの6件を一括して採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は委員長の報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、議案第46号から議案第51号までについては委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第52号豊後大野市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、議案第52号については委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第53号財産（物品）の取得について採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、議案第53号については委員長の報告のとおり可決されました。

次に、同意第4号日出町教育委員会教育長の任命について同意を求める件を採決します。

この採決は挙手により行います。同意第4号について原案のとおり同意することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（金元 正生君） 挙手全員です。したがって、同意第4号については原案のとおり同意することに決定しました。

次に、認定第1号令和6年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてから認定第3号令和6年度日出町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてまでの3件を一括して採決します。

各議案に対する委員長の報告は認定です。認定第1号から認定第3号は委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、認定第1号から認定第3号は委員長の報告のとおり認定されました。

お諮りします。大分市大手町3―2―9、大分県地方自治研究センター理事長中山敬三氏より提出され総務産業常任委員会に付託されました請願第3号地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願についてを採決します。

この請願に対する委員長の報告は採択です。委員長の報告のとおり採択することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、請願第3号については委員長の報告のとおり採択することに決定しました。

日程第1. 議員派遣の件について

○議長（金元 正生君） 日程第1、議員派遣の件についてを議題とします。

お手元に配付しておりますように、議員派遣の申出がありました。

お諮りします。会議規則第129条第1項の規定により、議員からの申出のとおり議員派遣することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、議員からの申出のとおり議員派遣することに決定しました。

お諮りします。ただいま決定いたしました議員派遣について、やむを得ない事情による変更または中止については、その決定を議長に委任していただきたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、そのように決定しました。

日程第2. 閉会中各委員会の継続審査及び調査について

○議長（金元 正生君） 日程第2、閉会中各委員会の継続審査及び調査についてを議題とします。

お手元に配付しております、各常任委員会及び特別委員会並びに議会運営委員会の各委員長から、会議規則第75条の規定により閉会中の継続審査及び調査の申出がありました。

お諮りします。各委員長からの申出のとおり、それぞれ閉会中の継続審査及び調査することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、各委員長からの申出のとおり閉会中の継続審査及び調査することに決定しました。

ただいま議案４件、諮問１件、報告２件が提出されました。

お諮りします。議案４件、諮問１件、報告２件を日程に追加し、追加日程１から追加日程第７として議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、議案４件、諮問１件、報告２件を日程に追加し、追加日程第１から追加日程第７として議題とすることに決定しました。

追加日程第１．発委第５号

追加日程第２．議案第５４号

追加日程第３．議案第５５号

追加日程第４．議案第５６号

追加日程第５．諮問第４号

追加日程第６．報告第１１号

追加日程第７．報告第１２号

追加議案に対する趣旨説明並びに提案理由の説明

○議長（金元 正生君） 追加日程第１、発委第５号地方財政の充実・強化に関する意見書についてから追加日程第７、報告第１２号和解及び損害の額を定めることについてまでを上程し一括議題とします。

発委第５号地方財政の充実・強化に関する意見書について趣旨説明をお願いいたします。総務産業常任委員会委員長 多田利浩議員。多田委員長。

○総務産業常任委員長（多田 利浩君） 発委第５号地方財政の充実・強化に関する意見書について、趣旨の説明を申し上げます。

今、地方公共団体には急激な少子高齢化に伴う社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少化における地域活性化対策はもとより、ＤＸの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められています。加えて、多発化する大規模災害への対応や感染症への備えも求められる中、地域公共サービスを担う人員は不足しています。政府はこれまで骨太方針に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきましたが、増大する行政需要や不足する人員体制に鑑みれば、今後はより積極的な財源確保が求められます。このため、２０２６年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、歳入歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指す

ことを求めるため、国の関係機関に対して意見書を提出するものであります。

以上、御説明申し上げましたが、何とぞ議員各位の御賛同をお願い申し上げます。

○議長（金元 正生君） 次に、議案第５４号から報告第１２号についての提案理由の説明を求めます。町長、安部徹也君。町長。

○町長（安部 徹也君） 追加提案いたしました議案３件、諮問１件、報告２件につきまして、御説明申し上げます。

最初に、議案第５４号日出町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正についてであります。特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い所要の改正を行うものであります。

次に、議案第５５号日出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてであります。家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第５６号日出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてであります。放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、諮問第４号人権擁護委員の候補者の推薦についてであります。現在、同委員に就任していただいております藤井享子氏の任期が、令和７年１２月３１日で満了するため、後任として西田さよ子氏を推薦したいので、議会の意見を求めるものであります。

次に、報告第１１号及び報告第１２号和解及び損害賠償の額を定めることについてであります。それぞれ発生した事故に対し、損害賠償の額を定めることについて専決処分しましたので、議会に報告するものであります。

以上、甚だ簡単ではありますが、追加提案いたしました議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

何とぞ、慎重な御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（金元 正生君） 以上で、趣旨説明並びに提案理由の説明を終わります。

お諮りします。本日は日程の都合上、委員会付託を省略して審議をいただきたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、委員会付託を省略することに決定しました。

お諮りします。ここでしばらく休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩をします。

午前11時18分休憩

.....

午前11時19分再開

○議長（金元 正生君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

_____・_____・_____

追加議案に対する質疑

○議長（金元 正生君） これから追加議案に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） なければこれで質疑を終わります。

_____・_____・_____

討論

○議長（金元 正生君） これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） なければ、これで討論を終わります。

_____・_____・_____

採決

○議長（金元 正生君） これより採決を行います。

発委第5号地方財政の充実・強化に関する意見書についてを採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（金元 正生君） 挙手全員です。したがって、発委第5号については原案のとおり可決されました。

次に、議案第54号日出町特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（金元 正生君） 挙手全員です。したがって、議案第54号については原案のとおり可決されました。

次に、議案第55号日出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（金元 正生君） 挙手全員です。したがって、議案第55号については原案のとおり可決されました。

次に、議案第56号日出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（金元 正生君） 挙手全員です。したがって、議案第56号については原案のとおり可決されました。

次に、諮問第4号人権擁護委員の候補者の推薦について採決します。

お諮りします。本案は人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて西田さよ子を適任であると答申したいと思います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（金元 正生君） 挙手全員です。したがって、諮問第4号については適任であると答申することに決定しました。

閉会の宣告

○議長（金元 正生君） 以上で、今期定例会における議案等の審議は全て終了しました。

議員各位におかれましては、議案審議や議会運営に格別の御尽力御協力をいただき、こうして閉会を迎えることができましたことに対して、心から御礼を申し上げます。

また、町長初め執行部の皆様には、議事運営はもとより各般にわたり格別の御配慮をいただきましたことに、心から御礼を申し上げます。しかしながら、さきの定例会にお願いしておいた適切な議会への報告等がいまだ改善されていないことに対しては、失望の念を禁じ得ません。議員からの意見要望を十分尊重し、適切な時期の報告を再度お願いをしておきます。

これをもちまして、令和7年第3回日出町議会定例会を閉会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、令和7年第3回日出町議会定例会を閉会することに決定しました。

これで閉会します。御苦労さまでした。

午前11時23分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年9月29日

議 長 金元 正生

署名議員 阿部 峰子

署名議員 工藤 健次

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員